

CURES

NEWSLETTER

地域経済
ニュースレター

1986.10.30 No. 1

巻頭言

地方都市再生の問題点

藤田 暁 男

古都金沢は、香林坊再開発の実現によって大きな変貌をとげようとしている。その影響は、市の核心部という位置、巨大な商業設備と資本集積、その集客力等からして、恐らく当初の予想を上廻るであろう。その経済的波及効果は、片町一武蔵の都心軸にとどまらず、商業的地域間競争の激化というインパクトによって、金沢以外の地域にまで及んでいる。この状況は、金沢の商業的力量を高めるといふ点からみれば画期的前進であるに違いない。

しかし、注意を要するのは、文化と伝統を誇る金沢の全体像からみれば、それによって都市再生のむつかしさが増加する面も少くない点である。

ここには、長崎、熊本、岡山、仙台等の歴史の重みを背負う地方都市に共通の、今日的都市再開発に伴うジレンマが顕在化しつつある。多くの地方都市の商業的再開発は、大型商業ビルを基軸に、今日的な若者中心のライフスタイル対応型を基本的トーンとして進め

- | | | |
|----------------------------------|-------|------------------|
| ■ 巻頭言 | | 藤田 暁 男 |
| ■ CURES Report | | |
| 「円高不況深刻——能登合織織物産地」 | | 村田 武 |
| ■ CURES Salon | | |
| 「私の研究関心」 | | 柴田 固 弘
玉井 龍 象 |
| ■ Topic | | |
| 「環日本海松江国際シンポジウムに参加して」 | | 山村 勝 郎 |
| ■ Information Processing | | |
| 「京都大学で経済分析エキスパートシステム開発プロジェクトの発足」 | | |
| ■ 地域経済文献情報 | | |

金沢大学経済学部

られている。ニューライフスタイルは、今日もなお大都会を起点としてマスメディアと若者を通して全国へ波及する傾向を持つ。従って、その再開発が商業的地域間競争で優位に立つためには、大型投資と大都会型ファッションのノウハウ等の導入が不可欠であり、かなりの程度まで大都会志向を強めざるをえない。それは、地方都市固有の商業的基盤（中小企業中心）を脅かすばかりでなく、それに伴う商業文化を脅かし、そして地方固有の文化それ自体を脅かしかねない。地方都市の現在のような再開発が進めば進むほど、その都市固有の文化の経済的基盤が弱くなる可能性があるという、地方都市再開発のジレンマに十分注意する必要がある。そして、地方の文化をその都市の最大の魅力にしている都市であればあるほど、その再開発が画期的であればあるほど、関係者によるそのジレンマに対する具体的対策もまた、それに拮抗しうるほどに早急にして格段の内実をもつものではないかならないように思われる。

また、この問題は、地方文化への脅威というレベルにとどまらず、社会の基底にかかわる問題を我々につきつける。都市再生が、ハード面の都市整備と共に、ソフト面の新たな都市の人間連合体（コミュニティ…ここでは便宜的にこの用語を使う）の再生、発展を目指すものであることは、金沢市を含む殆どの都市再生ランドデザインの理念に様々な形で示されている。上記の再開発におけるニューライフスタイル対応型の基本的トーンは、この理念とどうかかわってくるのであろうか。最近のある論文は、このような基本的トーンが、生活をとり込んだ、従って一過性でなく定着性のある楽しいショッピングの中で、軽

いタッチの人間関係を広げ、いわゆるストリートライフを出現させつつあると云う。また、ブームとも云える各種イベントも、一過性の祭型より定着性のある街作り型が目ざれつつあり、これらがストリートライフによる、「新しいコミュニティ」形成を促していると云う。これは確かに、若者や「隣りは何をする人ぞ」的な状況に見合うライフスタイルの新しい一面ではある。しかし、このような通人的主体群の形態において、新たなコミュニティの確固たる基盤が創造されうるであろうか。ここで本格的なコミュニティ論を展開する余裕はないが、やはり人間存在の基底をなす生産と生活の場において、確固とした社会的主体・住民によるコミュニティ形成の問題を、都市再生の中心に据えるべきであろう。そこには、新産業、新しい生活圏形成に伴う新たなコミュニティ形成の追求がありうると共に、地方の文化を支える地域・地場産業や伝統芸能の中にも、その因襲の解放と現代的再生による古くして新しきコミュニティ形成の可能性があると云われる。

かって、自由都市コミュニティを支えるユニヴェルシタス（組合）であった大学の研究者が、何らかの形で都市再生問題にかかわるとすれば、何よりもこのような住民による新たなコミュニティ形成に関心を払いつつ、再開発や地域産業や地方文化の諸問題に接近することになる。このニューズレターも、地域経済にかんする国内外の最新の理論や情報の提供の場であると同時に、読者の皆さんとの卒直な人間的交流によって、この地で我々住民が共に生活を支え合っていくためのフィロソフィや具体的提案を語り合う場ともなることを切に期待するものである。